

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

<p>学会名</p>	<p>日本植物生理学会2016（平成28年）第57回大会 http://jspp.org/annualmeeting/57/</p>
<p>演題名</p>	<p>微細藻類ユーグレナのフィトエン合成酵素遺伝子（EgcrB）における細胞増殖とカロテノイド分析（PL-062）</p>
<p>発表者</p>	<p>○<u>曾篠美花</u>[1]※、<u>加藤翔太</u>[1],[2]、<u>高市真一</u>[3]、<u>石川孝博</u>[4]、<u>朝比奈雅志</u>[1],[2]、<u>高橋宣治</u>[1],[2]、<u>篠村知子</u>[1],[2] [1]帝京大学大学院・総合理工学研究科、[2]帝京大学理工学部、[3]日本医科大学、[4]島根大学生物資源科学部</p>
<p>内容</p>	<p>微細藻類<i>Euglena gracilis</i>（和名ユーグレナ）を実用生産のために屋外培養する場合は、光阻害を回避するための研究が重要である。私たちは、カロテノイドの機能に注目している。カロテノイド合成系の初発酵素であるEgcrB遺伝子をRNAiにより発現抑制すると、ユーグレナの増殖速度が低下し、細胞が白色化することを確認した。さらにカロテノイド含量も著しい減少を示すことを明らかにした。</p> <p>本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受け、H27年度の本研究室の卒研究生で本学大学院に進学した大学院生や学内外の研究者と共同で行った。</p>
<p>関連画像</p>	